

ナカヨ通信機

卓上およびコードレス電話機のデザインを一新
盗聴防止機能などIP対応に注力

小規模事業所向けデジタルビジネスホン「NYC-iA model-S」は、ナカヨ通信機がビジネスホンの原点に戻って開発した新モデルだ。ビジネスホンの多機能性を踏襲・発展させつつ、IP電話対応を充実させている。拡販のポイントは、保守体制の整備にある。同社ではリモートでこれに対応すべく、準備を進めている。

ナカヨ通信機(本社・東京都渋谷区、秋山進社長)は、小規模事業所向けの新型デジタルビジネスホン「NYC-iA model-S」を発売した。10月29日から納入を開始。標準価格は主装置1台、電話機5台で44万6250円から(税込み、工事費別)となっている。

新製品は、2003年5月に発売したIP電話対応ビジネスホン「NYC-iZv2」の後継機種。キャリアのIP電話サービスに対応しながら、従来からのビジネスホンの多彩な機能を見つめ直し、さらに進化させた。営業本部営業課の松村徹課長は、「もう一度ビジネスホンの原点に戻ろう」という意味を込めてアルファベットの最初に戻り「iA」とネーミングした」という。この言葉が示すように、NYC-iA model-Sは、ビジネスホンの原点である使い勝手のより一層の向上を図るため電話機のデザインを一新している。

まず、カーソルキーを新たに装備し、携帯電話の操作性に近づけた。センターキーを押せばメニュー画面が表示され、多彩な機能をここで選択して利用できる。

表示画面には従来機種比で約2倍の大型液晶ディスプレイを採用し、全角10文字×6行表示を可能にした。併せて、角度を自由に調整できるチルト機能を搭載し、見やすさを向上させている。

液晶ディスプレイには、赤・黄・緑・水・青・紫・白の7色のバックライトが付いている。このため、あらかじめ「顧客」「社内」「一般」というように電話機に短縮グループ登録をしておけば、どのグループからの電話かがひと目で識別できる。また、着信メロディ機能と連動させ、表示色と着信音の両方で識別することも可能だ。

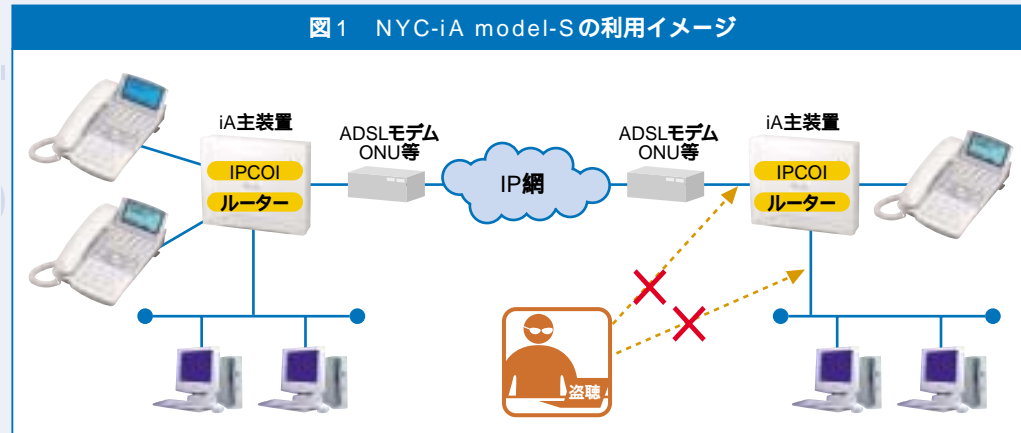
プログラマブルキーを従来の24個から30個に増やしたことも特徴の1つだ。松村課長は、「外線が2～3回線の小規模事業所でも、使用頻度の高いビジネスホンの機能を登録していくと、24個では足りないのでは、増やしてほしいとのご要望をいただいていた」と説明している。

1つのユニットで
マルチキャリアに対応

NYC-iZv2の販売実績を押し上げた最大の要因である「IP電話対応」も強化された。

ナカヨ通信機は今年4月、他社に先駆けて盗聴防止機能付きSIP対応IP電話機「DATAGATE IP PHONE(ST)」をリリースしているが、同じ機能をiAのIPユニットに標準搭載

した。独自の暗号化方式を採用。認証サーバーを設置することなく、iA同士の暗号化通信で盗聴を防止できる。



NYC-iA model-S

iZv2と同じだが、iZv2がサービスごとに3種類のインターフェースユニットを用意していたのに対し、iAは1ユニットのみ。ソフトウェアの書き換えで対応する。このため、導入するIP電話サービスのファームウェアを設置時にダウンロードすればよい。利用サービスを変更する場合も、ファームウェアの再インストールだけで済む。

した。独自の暗号化方式を採用。認証サーバーを設置することなく、iA同士の暗号化通信で盗聴を防止できる。

また、オプションで主装置にブロードバンドルーターを内蔵できるようにした。開発統括本部商品企画室の大戸一昌課長は、「これまで、どのメーカーのルーターを選定すればいいのかという悩みや、設定の手間がかかるなどの課題があった」と語る。内蔵型ルーターを用意することで、販売パートナーはこれらの煩わしさから解放される。iAの専用ルーターは、最大94Mbps、実効約50Mbpsの高スループットを実現。IP電話の音声帯域制御、優先制御、マルチセッション対応などの特徴を備えている。

対応するIP電話サービスは、NTTコミュニケーションズの「OCN Phone Office」、フュージョン・コミュニケーションズの「FUSION IP-Phone」、KDDIの「KDDI-IPフォン」の3種だ。対応数は

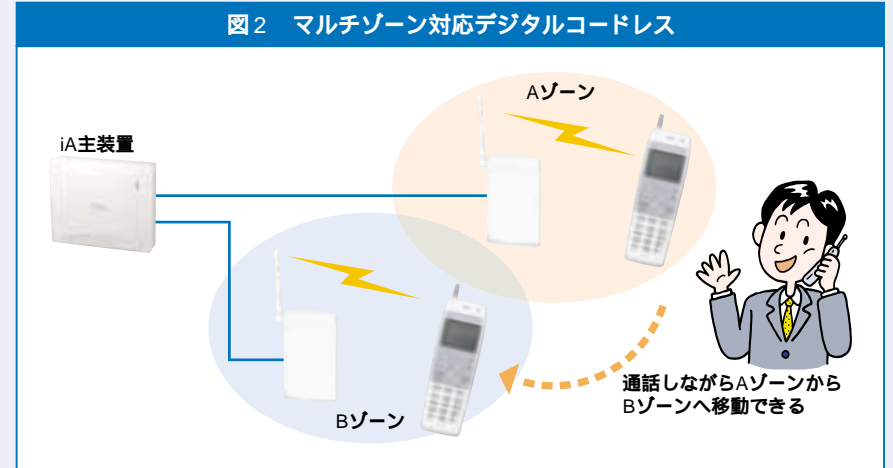
本社、支社のような拠点を持つユーザー向けには、直接外線まで呼び出せる拠点番号発信や、専用線と同じような統一番号発信の機能も備えている。

リモート保守対応で
販売パートナーを支援

ビジネスホン機能は、iZシリーズから多彩なものを継承・強化している。ここではいくつかの特徴的な機能を見てみよう。

NYC-iA model-Sでは、アナログコードレス電話機、デジタルハンドルコードレス電話機、マルチゾーン対応デジタルコードレス電話機という3タイプのコードレス電話機をラインナップしている。

は、iZシリーズで多くのユーザーに受け入れられた。アナログタイプながら、見通し距離で最大300mという長距離通話を実現している。このため、事務所から少し離れた倉庫などでも利用できる。



通常、こうした案件には構内PHSが提案されるが、安価なアナログコードレスにすれば、導入コストを低減できる。

は卓上型の本体(親機)と受話器(子機)の間をコードレス化したもの。子機はバックライト付き漢字液晶ディスプレイや8個のラインキーなどを搭載。主装置の共通電話帳を利用した発信が可能など、機能の充実を図っている。

はコードレス親機のエリアを越えても、別の親機を使用して通話が継続できるハンドオーバー機能を装備した点が大きな特徴になっている。また、公衆PHSサービスと契約すれば、公衆PHSとしても利用できる。その際、デュアルモード対応により、内線コードレスと公衆PHSの両方の待ち受けが可能になる。

新たに搭載したのが「FAX受信通知」機能だ。あらかじめFAX受信ボタンを設定しておけば、自席とFAXが離れていても、アラーム音と液晶画面表示で受信を確認できる。ナンバー・ディスプレイを契約していれば、送信相手も表示される。

前述の7色バックライトによる発信者識別機能も、ナンバー・ディスプレイを活用したものだ。このように同社は、既存のサービスや技術を応用して新しい機能を開発することを得意としており、他社との大きな差別化ポイントにしている。

ナカヨ通信機では、NYC-iA model-Sの拡販ポイントとして、導入後の保守体制の充実をあげる。営業本部販売推進SEセンターの豊田雅彦課長は、「販売パートナーからの手離れがよい点が当社のビジネスホンの特徴だが、IP電話対応になってからはセキュリティ対策等のために、ファームウェアを継続的にバージョンアップする必要が出てきた」と説明する。これに対しては、「現場に向くことなく、リモートメンテナンスで対応できるよう、保守システムの強化を図っていく」方針だ。

お問い合わせ先
株式会社ナカヨ通信機
本社 営業本部
TEL : 03-3496-1149
e-mail : www@nyc.co.jp
URL : http://www.nyc.co.jp/